

エコアクション 21

# 環境活動レポート

2017年度

対象期間 2017年7月～2018年6月

有限会社 共立自工  
(マツダオートザム中標津)

2018年8月31日発行

# 会社概要

## ① 事業名及び代表者

有限会社 共立自工 (マツダオートザム中標津)  
代表取締役社長 八島 一将

## ② 所在地

本社 〒086-1142  
北海道標津郡中標津町大通南3丁目1番地  
TEL 0153-72-2740 FAX 0153-72-0399  
床面積 787 m<sup>2</sup>

桜ヶ丘工場 〒086-1002  
北海道標津郡中標津町東2条南8丁目2-3  
TEL 0153-72-5677 FAX 0153-72-6272  
床面積 493 m<sup>2</sup>

## ③ 事業内容

- マツダブランドの新車販売
- 中古車販売
- 自動車整備業(車検. 点検. 板金. 塗装. 修理)
- 部品. 用品. タイヤ等の販売
- 損害保険代理店業務

## ④ 事業規模 (2017年度)

従業員数	20人
年間売上高	292,000万円
年間エコカー販売数	57台
年間車検台数	553台
年間点検台数	249台

## ⑤ 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	専務取締役	中谷 昌一
E A 2 1 事務局	自動車検査員	佐藤 龍一
	桜ヶ丘工場長	波田野 一哉

## ⑥ 認証・登録範囲 全組織・全事業

## EA-21 促進組織図

代表取締役社長  八島 一将	1. 環境方針の策定 2. 経営資源の準備 3. 代表者による全体の評価と見直し 4. 環境活動レポートの承認 5. 環境目標及び環境活動計画の承認
----------------------	--

環境管理責任者  中谷 昌一	1. EA-21 システムの確立、実施推進、維持管理 2. 環境への負荷及び取組への自己チェックの実施 3. 環境目標及び環境活動計画の策定 4. 環境活動レポートの作成 5. EA-21 に関する実施把握と報告 6. EA-21 環境経営マニュアルの作成
----------------------	---

EA-21 事務局  佐藤 龍一 波田野 一哉	1. 環境管理責任者の補佐業務 2. 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認 3. 教育、訓練計画の策定と実施／緊急時対応訓練含 4. 環境文書及び記録の作成、管理 5. その他EA-21に関する業務
----------------------------------	---

本社  清水 嘉博
1. 環境活動計画の実施 2. 問題点の是正処置

桜ヶ丘工場  小山 拓也
1. 環境活動計画の実施 2. 問題点の是正処置

# 環 境 方 針

## 〈基本理念〉

有限会社共立自工は、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、自動車販売・整備等当社のすべての事業活動のあらゆる分野で、環境に配慮した行動に努め、広く地域・社会に貢献します

## 〈基本方針〉

1. 自動車販売・修理・整備の事業活動を通じて、環境マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め継続的な改善に努めます
2. 環境に関する法律・規則・協定等を遵守し、当社が同意する行政機関・団体・地域等の要請に協力します
3. 事業活動において環境に負荷を与える影響を削減するために、下記の事項に対して優先的に取組みます
  - ① 工場・オフィスのエネルギー使用量の削減
  - ② 業務行程から排出される産業廃棄物の削減
  - ③ 節水活動による水使用量の削減
  - ④ 化学物質管理体制の構築と適正管理による汚染予防
4. 事業活動での使用物品・事務用品等グリーン購入を促進し、低燃費車自動車販売・修理・整備を通してお客様の環境負荷低減に努めます
5. 全従業員へ環境保全に関する啓蒙・啓発に努め、地域での環境保全・社会貢献活動に積極的に参加します

制定 2014 年 7 月 1 日

有限会社 共立自工

代表取締役社長 **八 島 一 将**

## 2017年度 環境目標・環境活動計画一覧表

取組項目	2016年度 基準値	2017年度 目標	2018年度 目標	2019年度 目標	2017年度 環境活動計画
二酸化炭素 の排出削減	139588.01 kg-CO <sub>2</sub>	138192.12 kg-CO <sub>2</sub>	136796.24 kg-CO <sub>2</sub>	135400.36 kg-CO <sub>2</sub>	● 各項目の実施項目
二酸化炭素 の排出削減	総電気使用量 の削減 62580 kWh	1%削減 61954 kWh	2%削減 61328 kWh	3%削減 60702 kWh	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未使用電気の消灯徹底</li> <li>● 業務改善による残業時間の削減（業務プロセスの見直し）</li> <li>● 休日のパソコン、プリンター、コピー機他の電源の管理</li> <li>● メジャーサインの点灯、消灯管理（季節ごとのタイマー設定）</li> </ul>
二酸化炭素 の排出削減	業務車輛燃料 (ガソリン、軽油)の削減 10020 L	1%削減 9919 L	2%削減 9819 L	3%削減 9719 L	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アイドリングストップの徹底</li> <li>● エコドライブ実地でお客様に効果PR</li> <li>● 代車貸出時の燃料見直し</li> </ul>
二酸化炭素 の排出削減	暖房、ボイラー燃料(灯油) の削減 17535 L	1%削減 17359 L	2%削減 17184 L	3%削減 17008 L	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボイラーの効果的使用</li> <li>● 暖房機の効果的な使用（空調温度管理）</li> <li>● 日常点検の実施</li> </ul>
廃棄物排出 量の削減	総廃棄物量 8606 kg	前年実績 維持 8606 kg	前年実績 維持	前年実績 維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分別の徹底(分別ボックス)の設置</li> <li>● 両面コピー、裏面の利用の徹底</li> <li>● 社内ランの活用(コピー、プリント削減)</li> <li>● 作成文書の見直しと統合実施</li> <li>● 産業廃棄物の適正処理</li> </ul>
水資源使用 量の削減	水使用量 1179 m <sup>3</sup>	1%削減 1162 m <sup>3</sup>	2%削減 1155 m <sup>3</sup>	3%削減 1143 m <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 節水シール設置</li> <li>● 温水等の定期的な点検</li> <li>● 洗車作業の見直し</li> </ul>

取組項目	2016年度 基準値	2017年度 目標	2018年度 目標	2019年度 目標	2017年度 環境活動計画
化学物質管理体制の構築と適正管理による汚染防止	計画達成度 100%	塗料・溶剤等の在庫・購入量に対するの使用量の管理	塗料・溶剤等の在庫・購入量に対するの使用量の管理	塗料・溶剤等の在庫・購入量に対するの使用量の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 塗料・溶剤等の種類ごとの在庫把握</li> <li>● 塗料・溶剤等の種類ごとの適正在庫量検討</li> <li>● 塗料・溶剤等の種類ごとの適正購入量の徹底</li> <li>● 環境にやさしい塗料・溶剤等の代替化検討</li> </ul>
グリーン購入の促進	2016年度 100%実施	100% 実施継続	100% 実施継続	100% 実施継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコマーク商品の優先購入</li> <li>● ネット通販活用による効果的なグリーン商品の購入</li> <li>● 再生材料から作られた商品の優先購入</li> </ul>
環境配慮商品販売向上	エコカー(i-stop.クリーンディーゼル含)新車の販売台数 バック de メンテの契約車両台数 2016年度は 71台	エコカー販売目標 60台 バック de メンテ契約台数 前年比 105%	エコカー販売目標 60台 バック de メンテ契約台数 前年比 105%	エコカー販売目標 60台 バック de メンテ契約台数 前年比 105%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコカー、(i-stop.クリーンディーゼル含)商品知識向上</li> <li>● 定期点検必要性の知識向上</li> <li>● バック de メンテのチラシ有効活用</li> </ul>

二酸化炭素排出係数 0.680 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 北海道電力 2012年度

◇ 2019年度目標を中期の到達目標とする

## 2017年度環境目標の実績と環境活動の取組結果と評価

2017年7月～2018年6月

項目	実績	2017年度環境目標	評価
二酸化炭素排出量	135639.11 kg-CO <sub>2</sub>	138192.12 kg-CO <sub>2</sub>	○
電気使用量の削減 (二酸化炭素排出量削減)	55907kWh	2016年度実績に対して 1%削減 61954kWh	○
ガソリン、軽油使用量の削減 (二酸化炭素排出量削減)	9121L	2016年度実績に対して 1%削減 9919L	○
灯油使用量の削減 (二酸化炭素排出量削減)	17337L	2016年度実績に対して 1%削減 17359L	○
産業廃棄物の削減	7276kg	2016年度実績に対して 前年維持 8606kg	○
水資源使用量の削減	1057L	2013年度実績に対して 1%削減 1162L	○
化学物質管理体制の構築と 適正管理による汚染予防	塗料、溶剤等の在庫、 購入量に対する使用量の管理	塗料、溶剤等の在庫、購 入量に対する使用量の 管理	○
グリーン商品購入の促進	100%実施継続	100%実施継続	○
エコカーの積極的販売 (環境配慮商品の販売向上)	販売実績台数 57台	販売目標台数 60台	×
パック de メンテの販売 (環境配慮商品の販売向上)	契約台数 65台	前年対比 105% 74台	×

達成○ 未達成×

二酸化炭素排出係数 0.680 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 北海道電力 2012年度

### 1. 二酸化炭素の排出削減

- 電気使用量の削減

未使用電気の消灯、メジャーサインの季節ごとの設定、残業時間の削減が実施できた事により良い結果となった

- ガソリン、軽油使用量の削減

アイドリングストップ、エコドライブ、代車に使用燃料給油のお願いステッカーを貼り努力した事により良い結果となった

- 灯油使用量の削減

ボイラーと暖房機の効果的な使用を意識して実施する事で良い結果となった

2. 産業廃棄物の削減

一般ごみの分別徹底. コピー機利用の見直し. リサイクルパーツの活用を実施した事で良い結果となった

3. 水資源使用量の削減

節水シール貼付による意識改革と洗車作業の見直しを実施する事で良い結果となった

4. 化学物質管理体制の構築と適正管理による汚染防止

塗料. 溶剤等の在庫. 購入量に対しての使用量の管理を徹底できた

5. グリーン商品購入の促進

エコマーク商品と環境配慮商品の購入を 100%実施できた

6. エコカーの積極的販売

エコカー販売台数は全社員で努力するも未達成です もう一度、展示会やダイレクトメール他の方法を検討する必要有

7. パック d e メンテの販売

商品勉強会による意識向上とチラシを活用したが、新車の落込みと車輻の低年式化でメンテナンスパック商品が売れなくなっている 対策を検討する必要有



## 2018年度の環境目標・環境活動計画一覧表

取組項目	2016年度 基準値	2017年度 目標	2018年度 目標	2019年度 目標	2018年度 環境活動計画
二酸化炭素 の排出削減	138869.637 kg-CO <sub>2</sub>	137480.94 kg-CO <sub>2</sub>	136106.13 kg-CO <sub>2</sub>	134745.06 kg-CO <sub>2</sub>	● 各項目の実施項目
二酸化炭素 の排出削減	総電気使用量 の削減 62580 kWh	1%削減 61954 kWh	2%削減 61328 kWh	3%削減 60702 kWh	2017年度を継続する ● 未使用電気の消灯 徹底 ● 業務改善による残 業時間の削減 (業務プロセスの見 直し) ● 休日のパソコン、プ リナー、コピー機 他の電源管理 ● メジャーサインの 点灯、消灯(季節ご とのタイマー管理)
二酸化炭素 の排出削減	業務車輛燃料 (ガソリン、軽 油)の削減 10020 L	1%削減 9920 L	2%削減 9820 L	3%削減 9720 L	2017年度を継続する ● アイドリングスト ップの徹底 ● エコドライブ実地 でお客様に効果PR ● 代車貸出時の燃料 見直し
二酸化炭素 の排出削減	暖房、ボイラ ー燃料(灯油) の削減 17535 L	1%削減 17360 L	2%削減 17184 L	3%削減 17010 L	2017年度を継続する ● ボイラーの効果的 使用 ● 暖房機の効果的な 使用(空調温度管 理) ● 日常点検の実施
廃棄物排出 量の削減	総廃棄物量 8606 kg	前年度実 績維持	前年度実 績維持	前年度実 績維持	2017年度を継続する ● 分別の徹底(分別ボ ックス)の設置 ● 両面コピー、裏面の 利用 ● 社内ランの活用(コ ピー、プリント削 減) ● 作成文書類の見直 しと統合実施 ● 産業廃棄物の適正 処理
水資源使用 量の削減	水使用量 1179 m <sup>3</sup>	1%削減 1167 m <sup>3</sup>	2%削減 1155 m <sup>3</sup>	3%削減 1144 m <sup>3</sup>	2017年度を継続する ● 節水シール設置 ● 洗浄作業の見直し 検討 ● 漏水等の定期的な 点検

取組項目	2016年度 基準値	2017年度 目標	2018年度 目標	2019年度 目標	2018年度 環境活動計画
化学物質管理体制の構築と適正管理による汚染防止	計画達成度 100%	塗料、溶剤等の在庫、購入量に対して使用量の管理	塗料、溶剤等の在庫、購入量に対して使用量の管理	塗料、溶剤等の在庫、購入量に対して使用量の管理	2017年度を継続する ● 塗料、溶剤等の種類ごとの在庫把握 ● 塗料、溶剤等の種類ごとの適正在庫量検討 ● 塗料、溶剤等の種類ごとの適正購入量の徹底 ● 環境にやさしい塗料、溶剤等の代替化検討
グリーン購入の促進	100%実地	100% 実地継続	100% 実地継続	100% 実地継続	2017年度を継続する ● エコマーク商品の優先購入 ● ネット通販活用による効果的なグリーン商品の購入 ● 再生材料から作られた商品の優先購入
環境配慮商品販売向上	エコカー(i-stop、クリーンディーゼル含)新車の販売 42台 パックdeメンテの契約車 両増 71台	エコカー販売目標 60台 パックdeメンテ 前年比 105% 74台	エコカー販売目標 60台 パックdeメンテ 前年比 105%	エコカー販売目標 60台 パックdeメンテ 前年比 105%	2017年度を継続する ● エコカー(i-stop、クリーンディーゼル含)商品知識向上 ● 定期点検必要性の知識向上 ● パックdeメンテのチラシ有効活用

二酸化炭素排出係数 0.676 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 北海道電力 2015年度

◇ 2019年度目標を中期の到達目標とする

## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

法規制等の名称	主な要求事項	遵守評価
産業廃棄物処理法	産業廃棄物保管場所の表示及び管理 産業廃棄物の適正処理 産業廃棄物処理業者との契約書 産業廃棄物処理業者の許可コピー マニフェストの5年間保管	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	○
公害防止条例	騒音発生施設の届出 振動発生施設の届出	○
火災予防条例	少量危険物貯蔵設置届け及び表示 火気厳禁表示	○

## 環境関連法規への違反・訴訟の有無

過去3年間環境関係法規違反・訴訟はありません

また、環境当局から違反等の指摘や指導も1件もありません

## 代表者による全体評価と見直し結果

全社員のエコアクション21に取り組む姿勢及び環境に対しての意識が高く維持できていると思う。工場内外や事務所内外の整理整頓清掃や駐車場などの清掃がなされ綺麗な状態を維持できている。又、休日や休み時間などの節電などの意識も高くなっている。エコカー販売台数とパックd eメンテ契約台数が目標未達だが新車がなかなか売れない中、社員全員で取組姿勢は評価できる。環境に対しての取組はこのまま高い意識で維持したいと思う。

- 環境方針は改定の必要なし
- 環境目標は改定の必要なし
- 環境活動計画は改定の必要なし
- 実施体制は変更の必要なし
- 環境経営システムは改定の必要なし